

## 有害獣捕獲支援システム「わなフォト」

長野県須坂市では、鳥獣被害対策実施隊が設置した「わなの定期見回り活動」における

労力・負担軽減および捕獲時の安心・安全の確保の改善が課題だった。

そこで小電力無線スマートセンサーシステム「わなフォト」を使い、上記課題を解決する検証を行った。

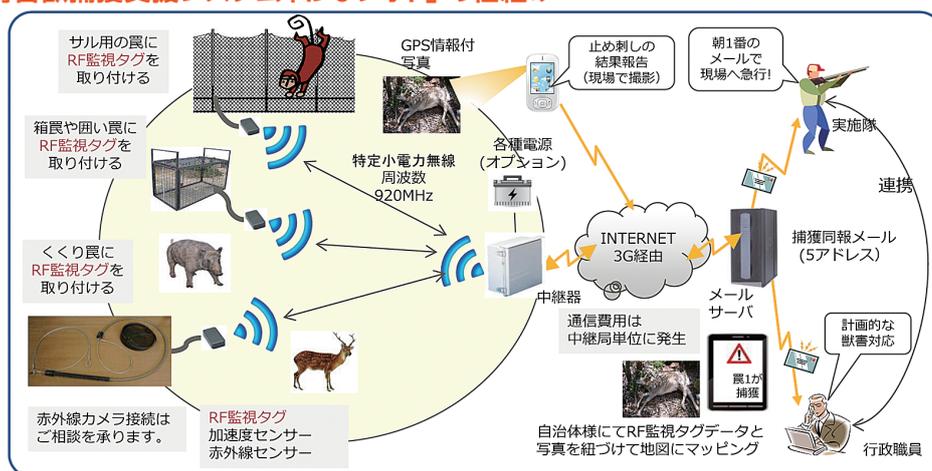
## 背景

外来種を含め、野生鳥獣による農作物被害額は、平成21年以降、200億円を上回り、その中でもイノシシやシカによる被害は全体の7割を超え、増加傾向にある。(海外でも鳥獣被害は拡大中) 主な要因は、鳥獣の生息域拡大、高齢化などによる捕獲圧の低下、耕作放棄地の増加である。被害拡大・深刻化から平成19年12月に「鳥獣被害防止特措法」も成立しているが、被害が減らず、鳥獣害対策における投資対効果が求められている。

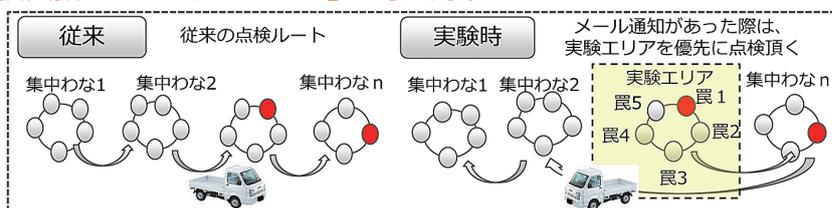
## 概要

●有害獣捕獲支援システム「わなフォト」は、罾等に取り付けた加速度センサー付RF監視タグを使って捕獲を通知するシステム。有害獣が罾に掛かると、加速度センサーが動作し、予め指定した複数の携帯電話やスマートフォン等にメールで通知。

## (1) 有害獣捕獲支援システム「わなフォト」の仕組み



## (2) 有害獣捕獲支援システム「わなフォト」の導入効果



## アピールポイント

- 日出日没基準を考慮したメール通知が可能(特許出願済)。
- 様々な「わな」に接続して使用可能(箱罾、くくり罾等)。
- 電源(太陽光発電)を接続することで集落周辺だけでなく電波状態のよい山間でも使用可能。
- 複数のわなに接続したRF監視タグの通信回線を集約し、運用費用を抑制。
- 毎日RF監視タグの電池残量を通知するので電池交換の時期を逃さない。

富士通株式会社 <http://www.fujitsu.com/jp/>

☎0120-933-200 富士通コンタクトライン(総合窓口)

受付時間 9:00~17:30(土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く)